

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
石井 1	p.14 I.371		表 JC.1	ed	$\lambda$ bnad の bnad は band?	意図的に bnad なら問題ないです。	$\lambda$ band に修正します。
石井 2	p.16 I.393		表 JD.1	ed	同上	同上	$\lambda$ band に修正します。
石井 3	p.9 I.273			ed	減衰量の波長依存性は小さい（理想的にはゼロである。）。 括弧内の「。」は不要ではないでしょうか。		JIS では、括弧内の文末にも「。」を付けることで統一をしております（I.339 も同様です。）。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
石井 1	p.9 l.134		表 7		<p>「<u>光アダプタ</u>の一端からピンゲージを挿入している状態で、<u>光アダプタ</u>の他端からもう一つのピンゲージが光アダプタの中央まで、2 N~5.9 N の力で挿入可能でなければならない。」</p> <p>光レセプタクルの表ですが、「光アダプタ」でよろしいでしょうか。</p>	要確認	<p>光レセプタクルとしての適切な記載に変更いたします。</p> <p>(1) 表 7 の注 b) の記載を変更</p> <p>“注 b) この光ファイバコネクタの整列構造は、弾性スリーブによる。<u>ピンゲージが光レセプタクルの中央まで、2 N~5.9 N の力で挿入可能でなければならない。ピンゲージは、表 8 のピンゲージ等級 2.499 を使う。ここでいう光レセプタクルの中央とは、寸法 E の右端である。</u>”</p> <p>(2) 表 7 の下に注記を追加</p> <p>“<u>注記 表 7 の注 b) について、対応国際規格では光アダプタとしての記載であるが、この規格では光レセプタクルとしての記載に変更した。</u>”</p> <p>(3) 附属書 JA (対比表) に記載を追加</p> <p>“5/5/変更/表 7 の注 b) を光レセプタクルとして適切な記載に変更した。/対応国際規格の次回改定時に修正提案を行う。”</p>

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	149	3.1.9		ed	式は注釈に記載することが望ましい。	式を注釈 1 に移動し、注釈番号を繰り下げる。 MOD のため大きな影響がない。	ご提案のとおり修正いたします。
渋谷隆 2	155	3.1.10		ed	「もの」止めにしない。	「もの」を「条件」に変更する。	ご提案のとおり修正いたします。
渋谷隆 3	163	3.1.12		ed	「DFB-LD などの」は定義にふさわしくない。	注釈 1 に単一縦モードレーザには、DFB-LD、DBR-LD などがある。と記載する。	本文から「DFB-LD などの」を削除し、注釈 2 に「単一縦モードレーザには、DFB-LD、外部共振器レーザなどがある。」と追記いたします。
渋谷隆 4	173	3.1.14		ed	式は注釈に記載することが望ましい。	式を注釈 1 に移動し、注釈番号を繰り下げる。 MOD のため大きな影響がない。	ご提案のとおり修正いたします。
渋谷隆 5	173	3.1.14		ed	$D_\lambda$ の $\lambda$ 、下付き 1/4 文字は立字体とする。	立字体に修正する。	ご提案のとおり修正いたします。
渋谷隆 6	176	3.2		ed	APC は、angled physical contact の略語である。 JIS C 5962 では「斜め PC」としている、	斜め PC に変更する。	ご提案のとおり修正いたします。
渋谷隆 7	179 181	3.2		ed	用語が複数形になっている。	s を削除する。	“demultiplexer” 及び “multiplexer” に修正いたします。
渋谷隆 8	656	B.4.1		ed	SSER が 3.2 略語にない。	略語に追加する。	3.2 に、「SSER 信号対自然放出光比 (Signal-to-spontaneous emission ratio)」を追加し、その旨を対比表 (附属書 JC) にも追加いたします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2026-02-26	規格番号: C 6191	プロジェクト:
----------------	--------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
山田 1	656	B.4.1 概要		ed	信号対自然放出光比：SSER を略語に登録する必要はないのでしょうか？	登録が必要であれば「3.2 略語」に追加をして下さい。	3.2 に、「SSER 信号対自然放出光比 (Signal-to-spontaneous emission ratio)」を追加し、その旨を対比表 (附属書 JC) にも追加いたします。
渋谷 隆 9	825	参考文献		ed	参考文献は、本文中で参照される場合は、参考文献番号を付与することが望ましい。  少なくとも、IEC では中央事務局から強く推奨されている。	参考文献番号を付与し、本文中に参考文献番号を記載する。	p.33 の参考文献に番号を付し、本文に登場する IEC 61280-1-3, ISO/IEC Guide 99, JIS Q 17025 について、登場箇所に参考文献番号を付記いたします。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。